

2024年3月4日
(最終更新日 2024年5月16日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 4969

課題名 : 薬剤感受性測定チップを用いた薬剤耐性菌の迅速同定の検証

1. 研究の対象

2024年7月1日から2025年3月31日の間に、18才以上で防衛医科大学校病院入院中に耐性菌が検出された患者さん

2. 研究期間

学校長承認日から2026年3月31日まで

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2024年7月1日

4. 研究目的

本研究では、防衛医科大学校病院の病棟分離菌の中で特に耐性菌を用いて、薬剤感受性測定チップと従来の薬剤感受性試験（感受性測定パネルもしくはディスク法）と比較し、薬剤感受性測定チップの有用性を検討することを目的としています。

5. 研究方法

防衛医科大学校病院細菌検査室に保有してある、喀痰、血液、尿から採取された病棟分離菌のうち、特に大腸菌、緑膿菌、アシネトバクター、肺炎桿菌、インフルエンザ菌、黄色ブドウ球菌、肺炎球菌について、薬剤感受性測定チップと従来のディスク法を用いて感受性を比較します。細菌検査室で保有していない菌株については、通常診療の検査の範囲内で取得した検体を調べて、研究対象となる菌株が見つかった場合、その菌株を用いて同様の解析を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

菌株 :

大腸菌、緑膿菌、アシネトバクター、肺炎桿菌、インフルエンザ菌、黄色ブドウ球菌、肺炎球菌

7. 外部への試料・情報の提供

「該当なし」

8. 研究組織

「本校単独研究」

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。使用する研究費は講座研究費及び競争的研究資金（科研費）です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校 免疫微生物学講座 末松良平

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 2269）平日 9時～17時

ryohei0724@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校 免疫微生物学講座 木下学